

一人ひとりの生命をお互いに大切にしよう



健康とわだ21

保健協力員の活動を紹介します



保健協力員は市民の健康づくりを推進するために、健康についてのさまざまな取り組みをしています。現在、市の委嘱を受けた243人の保健協力員が活動しています。

どんな活動をしているの？

- ①市民の一人として、まずは自分の健康づくりをすすめていくために、積極的に研修会に参加しています。
- ②市民に健康に関する知識を普及させるために、健康教室・介護予防いきいき教室への参加を呼び掛けています。
- ③地域の皆さんや関係機関と一緒に、地域の取り組みについて考え、保健協力員会として自主的な活動を行っています。

●メタボリック・シンドロームをテーマに健康劇を行っています

「メタボリック・シンドローム予防の大切さ」と「健診の重要性」をテーマに、オリジナルの健康劇を作りました。本年度は、深持ふれあい会館など市内3カ所で劇を発表しました。

希望があれば上演しますので、ご相談ください。



健康劇の一場面

劇の準備が着々とできていく過程はとてもワクワクします。みんなで作り上げるのは楽しく、劇を見たかたから「よかったよ」と声を掛けられるとさらにうれしくなります。



健康劇に出演している保健協力員の江渡さん

●訪問して健診を呼び掛けています



健診を勧めている保健協力員の滝内さん

本年度、重点的に取り組んでいるのは、健診のPR活動です。健診の申し込み時期に皆さんの家庭を訪問し、健診の受診を呼び掛けています。

自分や家族のために健診を受けましょう。また、がんは早期発見・早期治療が大切なのでがん検診を必ず受けましょう。

●母子研修会に参加しました



母子研修会での話し合いの様子

「最近の子育ての状況を知ろう～安心して子育てできるようにみんなで支えていこう～」というテーマで9月に研修会を行い、30人が参加しました。

その中で、子育てや親子のあり方について話し合い、「これから子どもたちにも積極的に声を掛けていきたい」などの感想がありました。

問い合わせ先 市保健センター (☎251181)



長期療養児の療育相談

長期療養を要する児童（乳幼児含む）や家族の疾病に対する不安や悩みを解消するために、小児科医師による相談や助言を行います。

対象 ①小児慢性特定疾患（悪性新生物や慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患など）で、治療中の児童および家族

②長期にわたって療養を必要とする児童（未熟児養育医療、育成医療等を受給している児童）および家族

とき 3月6日(金) 受付 午後1時～2時
ところ 上十三保健所（無料）

相談に応じる医師 市立中央病院 診療部長 小田 誠
申し込み先 2月27日までに上十三保健所へ（☎234261）



離乳食ふれあい教室に参加してみませんか

調理実習や参加者との交流を通じて、楽しい離乳食づくりをしてみましょう。

対象 開催日に満6カ月～8カ月になるお子さんと保護者

とき 2月20日(金) 午前9時30分～正午

ところ 市保健センター（無料）

定員 15人（先着順、お子さんは託児します）

内容 計測、個別相談、離乳食の調理実習と試食

持ち物 母子健康手帳、大人用・子ども用エプロン、おしぼり、おんぶひも

申し込み先 2月13日までに市保健センターへ（☎251181）